

平成29年12月12日
株式会社 山梨中央銀行

大学知財群活用プラットフォーム（P U i P^{ビュ-イッブ}）との連携について

株式会社山梨中央銀行（頭取 関 光良）は、地方銀行として初めて大学知財群活用プラットフォーム※（Platform of University intellectual Property、以下「P U i P」といいます。）と連携しましたのでお知らせします。

今回の連携は、P U i Pの会員が所有する知的財産と研究シーズ等を活用し、地域企業における経営課題解決の支援を行うことで、地域経済の活性化を図るものです。

当行は今後も、山梨県の地域経済の活性化と社会の発展に取り組んでまいります。

※山梨大学、宇都宮大学、首都大学東京、埼玉大学、芝浦工業大学、信州T L O、筑波大学、東京電機大学、東京理科大学、横浜国立大学、日本原子力研究開発機構を会員とし、各機関の特許等の研究シーズを企業ニーズとマッチングし活用・事業化する産学連携活動を行う団体です。

記

1. 連携の概要

(1) 目的

当行が保有する企業ニーズに関する情報およびノウハウと、P U i Pの会員が所有する知的財産と研究シーズ等に関する研究情報等を用いて相互に協力し、地域経済の活性化と社会の発展に貢献することを目的とします。

(2) 内容

- ① 地域経済の活性化のための情報交換および支援
- ② P U i P会員の研究成果である知的財産、研究シーズ等に関する紹介
- ③ 地域企業の研究開発ニーズの紹介
- ④ その他必要と認める事項

(3) 連携開始日

平成29年11月22日（水）

2. 連携による取組み

山梨大学客員社会連携コーディネータ等がお客さまから受けた産学連携の相談のうち、山梨大学では研究していないテーマ等について、山梨大学を通じてP U i Pへ取り次ぎます。

なお、P U i Pとの連携に際しては、利用企業に利用料（研究テーマ1件あたり10万円）およびその他経費の費用負担が発生しますが、当行から山梨大学を通じて連携する場合、利用料が一部減額されます。

以 上



(左から関頭取、筒井運営委員長代理 (P U i P)、早川理事・副学長 (山梨大学))